

2015 年 4 月 17 日
株式会社セキュアソフト

HTTP.sys の脆弱性に対応するシグネチャリリースについて

Microsoft Windows の HTTP.sys に対し、細工された HTTP リクエストを処理する際に任意のコードが実行される脆弱性（MS15-034、CVE-2015-1635）と、ブルースクリーン状態にさせる非常に危険度の高い攻撃コードが確認されました。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）も 4 月 15 日、この脆弱性は悪用される可能性が高く注意喚起を出しています。対策として 4 月 13 日に Microsoft より公開されたセキュリティ更新プログラム「KB3042553」を適用することで回避可能です。

Sniper シリーズではユーザ定義シグネチャによる対策をご案内するとともに、4 月 20 日にシグネチャリリースを実施いたします。

<対策>

4 月 15 日に Microsoft より公開されたセキュリティ更新プログラム「KB3042553」の適用

<Sniper IPS での対応>

Sniper シリーズでは 4 月 20 日にシグネチャリリースを実施いたします。

<Sniper ご利用のお客様へ>

Sniper をご利用いただいておりますお客様へは、Sniper のシグネチャのユーザ定義機能にて対応可能なシグネチャ情報を本日メールにてご案内しております。緊急で対策が必要な場合はメールに記載しております設定方法にて案内をお願い致します。

以上